

教育研究評議会議事録（第200回）

日 時：令和3年3月25日（木）15時00分～16時55分

場 所：事務局第一会議室

出席者：小川、藤代、喜多、水野、佐々木、比屋根、藪、宮本、山本（欣）、山本（昭）、
宇佐美、八代、倉島、上村、田代、佐藤（繁）、関野、伊藤、横山、松岡、丸山、
境野、鎌田、清水、長田、大石、船崎、山下、村上

配付資料

- | | |
|--------|--|
| 議題1 | 国立大学法人岩手大学 第3期中期目標・中期計画・令和3年度年度計画一覧 |
| 議題2 | 「岩手大学ビジョン2030」及びビジョンの実現に向けた具体的な取組（案） |
| 議題3 | 第4期中期目標・中期計画及び事業素案について（案） |
| 議題4 | 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）：総合科学研究科
理工学専攻 |
| 報告1 | 令和元年度実施大学機関別認証評価 評価結果への対応について |
| 報告2 | 「教育学部への指示事項」に関する教育学部検討結果への対応についての対応
方針 |
| 報告3 | 教育研究施設長等及び学部長等の任命について |
| 報告4 | 令和3年度定例会議開催日程（案） |
| 報告5-1 | 教員人事に関する報告について（国際教育センター） |
| 報告5-2 | 教員人事に関する報告について（教員養成支援センター） |
| 報告5-3 | 教員人事に関する報告について（教育学部） |
| 報告5-4 | 教員人事に関する報告について（教育学部） |
| 報告5-5 | 教員人事に関する報告について（教育学部） |
| 報告5-6 | 教員人事に関する報告について（教育学研究科） |
| 報告5-7 | 教員人事に関する報告について（理工学部） |
| 報告5-8 | 教員人事に関する報告について（理工学部） |
| 報告5-9 | 教員人事に関する報告について（農学部） |
| 報告5-10 | 教員人事に関する報告について（農学部） |
| 報告6 | 経営協議会報告（第75回） |
| 報告7 | 学長・副学長会議報告（第199回～200回） |
| 報告8 | 令和2年度入試委員会（臨時第3回、第7回）議事録 |
| 報告9 | 令和3年3月23日 卒業生及び修了者の人数について |
| 報告10 | 入試結果報告（令和3年度一般選抜の出願状況、入学試験実施状況【学部・大
学院】 |

議事に先立ち、前回議事録について原案のとおり議事録を確定することとした。

議 題

1. 令和3年度国立大学法人岩手大学年度計画について

学長から、令和3年度国立大学法人岩手大学年度計画について審議する旨が述べられ、次いで、藤代理事から、資料に基づき、1月28日開催の本会議において示した内容からの変更点について説明があった。また、第3期中期目標期間の最終年度となるため、これまでの達成状況を踏まえて未達成項目の取組みについて依頼があり、審議の結果、原案のとおり了承された。

なお、学長から、本日開催の役員会で決定し、3月31日までに文部科学省へ提出する旨の付言があった。

2. 岩手大学ビジョン 2030 の作成について

学長から、資料に基づき、岩手大学ビジョン 2030 の作成について、検討経緯及び10月22日開催の本会議で提案した内容から意見を頂いて反映した変更点について説明があり、事業素案(具体的な取組み)は今後も検討を行うが、本会議ではビジョンにおける「目標」と「戦略」を確定して公表したいので、質問及び意見を頂きたいとの依頼があった。

審議において、経営協議会委員からの意見の取扱いについて質問があり、学長から、経営的な観点も踏まえて今後議論が必要であると考えており、執行部でまとめたうえで提起し意見交換をさせて頂きたいとの説明があった。また、「事業素案」が見えないと「戦略」の意味合いが分からないのではないかと意見があり、学長から、今回の提案では、「目標」の中に「重点項目」を明記することにより具体性を持たせたとの説明があった。

次いで、字句表現についての質疑応答が行われ、審議の結果、さらに意見がある場合には報告することとして、了承された。

なお、学長から、ビジョン 2030 について、構成員へ教授会の場を利用し説明会を行う予定であり、日程を調整中である旨の付言があった。

3. 第4期中期目標・中期計画の作成について

学長から、第4期中期目標・中期計画の作成について諮る旨が述べられ、次いで、藤代理事から、資料に基づき、2月18日開催の本会議で提案した内容から、執行部で検討を重ねて作成した原案について、ステークホルダーを意識したものであるか、評価指標として測定可能であるか、岩手大学ビジョン 2030 の重点項目を推進するものであるか、役員で検討してきた強化充実の観点であるか、を踏まえ作成した旨の説明後、各中期計画及び事業素案について項目ごとに説明があった。

なお、役員間で議論があった内容について紹介があり、作成にあたって不明な点が多いため、4月中(4/14)に文部科学省と事前相談を行い、文部科学省の指示を踏まえて修正をしていきたいと考えていること、ビジョンで学長が示す重点項目は中期計画に具体的に落とし込んでいること、前回記載していた学部から提案された事業案はビジョンの事業素案へ記載し今後どこまでやれるのか検討するなど、ビジョンの事業素案の精査をしながら同時に中期目標・中期計画の事業素案を精査する作業を進めていきたいとの説明があった。また、4月の本会議では、ビジョンの実行計画と中期目標・中期計画の事前相談結果を踏まえた提案をして議論していきたいとの説明があった。

審議において、岩手大学としての特徴的な取組みは何かわかりにくいと、具体的な内容を何点が記載して、文部科学省への事前相談の資料であったとしても、より良い内容を持参した方がよいのではないかと意見があった。学長から、最終的に文部科学省へ提出するのは「中期計画素案」と「評価指標」だけであるが、事前相談には「事業素案」も提示し、早急に「中期計画素案」と「評価指標」へ書き込む具体的な特徴等を学部や担当分野と議論しながら7月末の提出までに進めていく手順であるとの説明があった。

また、今後、社会を牽引するのは博士課程修了生になるのではないか、連合農学研究科と理工学研究科が連携した取組みは、本学の特徴となるのではないか、社会的なインパクトがないと研究としての評価が上がらないのではないか、大学として予算や人材の投資を戦略的にすることも必要ではないか、などの意見があった。藤代理事から、各学部に対し質問・検討事項を照会するので、その回答を踏まえ、文部科学省との事前相談前後に意見交換と共通理解をしていきたいとの説明があった。さらに、「中期計画」について、第3期では戦略的・挑戦的な計画を立てることが出来たが、第4期も可能かどうか不明だがそういう計画があっても良いのではないかと意見があった。

審議の結果、挙げられた意見は参考とすることとして、文部科学省と事前相談を行うための案として、原案のとおり了承された。

4．総合科学研究科理工学専攻の教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）の変更について

学長から、総合科学研究科理工学専攻の教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）の変更について諮る旨が述べられ、次いで、喜多理事から、資料に基づき、修正内容の説明があり、審議の結果、原案のとおり了承された。

なお、学長から、科目の変更に伴いポリシーを変更することにならないよう今後対応を検討していきたいとの発言があった。

5．その他

なし

報 告

1．令和元年度実施大学機関別認証評価 評価結果への対応について

喜多理事から、資料に基づき、令和元年度実施大学機関別認証評価 評価結果への対応について、令和2年度の取組状況及び今後の実施計画について報告があった。また、喜多理事から、教務委員会での対応状況について報告があった。

2．「教育学部への指示事項」に関する教育学部検討結果への対応についての対応方針

宇佐美教育学部長から、資料に基づき、「教育学部への指示事項」に関する教育学部検討結果への対応についての対応方針の報告があった。なお、「3 附属校園について」は、早急に検討し対応することを再度確認した。

3．教育研究施設長等及び学部長等の任命について

学長から、資料に基づき、教育研究施設長等及び学部長等の任命について報告があった。

4．令和3年度定例会議開催日程について

法人運営部長から、資料に基づき、令和3年度定例会議開催日程について、1月28日開催の本会議で提示した内容からの変更点について報告があった。

5 . 教員人事に関する報告について

喜多理事から、国際教育センター 1 件及び教員養成支援センター 1 件の教員人事について報告があった。また、教育学部長から 3 件、教育学研究科長から 1 件、理工学部長から 2 件及び農学部長から 2 件の報告があった。

6 . 経営協議会報告について

7 . 学長・副学長会議報告について

8 . 入試委員会報告について

9 . 令和 3 年 3 月卒業・修了報告について

10 . 入試結果の報告について

資料のとおり。

11 . その他

学長から、委員の終了（退職）、陪席者（事務長・部長）の退職及び転出について報告があった。

最後に、学長から、次回の教育研究評議会を、定例の 4 月 2 2 日（木）の 1 5 時から開催することが述べられた。